

インド ムンバイ市 スネハル・アンベッカー市長による演説概要 (2015年6月1日)

佐藤祐文横浜市会議長、
仁田昌寿横浜市会副議長、
林文子横浜市長、
御臨席の皆様、

本日、私たちは、横浜市とムンバイ市との姉妹都市提携50周年を祝うため、ここに参りました。横浜市はまた、マニラ市、オデッサ市、バンクーバー市とも姉妹都市提携50周年を迎えられました。横浜の皆様、マニラ、オデッサ、バンクーバーからお集まりの皆様に、心より御祝いを申し上げたいと思います。横浜市とムンバイ市の関係の始まりは、1965年11月11日にさかのぼります。以来、私たちの都市の間には、長期的な協力関係が構築され、文化、教育、ビジネス、技術などの分野で交流が行われてまいりました。

ムンバイ市はインドでは「夢の都市」と呼ばれます。横浜が「港の街」と呼ばれるのと同様です。私たちは、この50年間、まさに両市と両国における大きな変革のなかを歩んでまいりました。50年前、私たちの友情が始まったとき、横浜と日本は新興勢力であり、インドは民主主義国家への途上にありました。現在、日本は先進国のひとつとなり、インドには将来への大きな可能性が存在しています。

この50年間、私たちは、固形廃棄物管理、水道、その他関連事項など多様な問題について協力を行ってまいりました。2009年、ムンバイ市ヴィクラム・パウエル副行政長官が横浜開港150周年記念式典に、また同年9月に、マンゲシュ・ラクスマン・タムベ局長 (E. S. & P) がシティネット横浜大会に出席させていただきました。河川工学技術部の幹部技術者であるヴィジェイ・パクパンデが2009年度シティネット横浜水道局研修プログラムに招聘いただきました。さらに2010年10月、林文子市長のお招きにより、当時のシュラッダ・ジャハブ市長、スワディーエン・シャトリヤ行政長官が横浜市を訪問し、横浜市とムンバイ市の姉妹提携45周年をともにお祝いする機会を得ました。

横浜市とムンバイ市の関係は、ムンバイ市にとって、あらゆる姉妹都市との交流のなかでも、もっとも実り多いもののひとつであり、私たちは日本から、強靱な組織、意思決定の共有化、規律ある生活、協調のための努力といった非常に多くの有益なことを学ぶことができました。私たちには、双方に豊かな文化遺産があります。次の時代に向け、私たちは互いの文化的な絆を一層深めていく必要があると信じております。お互いにそこから多くを学び合うことができるでしょう。

裏面あり

インドと日本の間に、したがってムンバイと横浜の間に存在するもうひとつの重要な結びつきは、仏教です。仏教は日本文明に計り知れない影響を及ぼしてまいりました。仏教は、長い歴史を通じて日本の生活に浸透してきたため、その影響の深さを認識するのは難しいほどです。しかし、日本を訪れ、市街中心部にも高い山上にも無数のお寺があることを見ればその影響の大きさは明らかです。

横浜は港湾都市です。同様にムンバイも港湾都市で、ムンバイには、ムンバイ港とJNPT（ジャワハルラール・ネルー港）の2つの大きな港があります。ムンバイ港は世界有数の天然資源に恵まれ、広大な係船ドック及び乾ドック設備を有します。JNPTはインド国内でも大きなスペースを備えた、近代設備の整った港です。ムンバイ市と横浜市が協力すれば、必ずインド諸港の近代化が達成できるでしょう。

また、ムンバイ大学はインドを代表する優秀な大学のひとつです。インド工科大学、ヴェルマタ・ジジヤバイ工科大学、化学技術大学は、いずれもインド有数の技術工学系の大学です。SNDT 女子大、数校の医学系大学、サー・J.J. スクール・オブ・アートなどすべての教育機関において、交換留学制度を発足させることが可能です。

都市間外交を促進する目的で、横浜市に国際局が設置されたことを非常にうれしく思います。これにより、私たちの絆は必ずや強化されると確信しています。私たちは今後、学生交換プログラム、文化関連の交流やイベント開催などを開始することも考えています。ムンバイ市でも、横浜市との姉妹都市提携50周年を記念し、今後の両市交流の一層の発展を祈念して、お祝いの機会を設けたいと考えております。横浜市民の皆様のムンバイ御訪問を心から歓迎いたします。

最後になりましたが、横浜でこのような記念プログラムを企画し、姉妹都市提携50周年の記念行事にお招きいただいたことを林文子市長に深く感謝申し上げます。また、佐藤祐文横浜市会議長には、このように、横浜市会議員の皆様に向け、さらに、オデッサ市 オレグ・ブリンダック市議会議長、バンクーバー市 アンドレア・ライマー副市長及びマニラ市 ドナ・ガスゴニア市長政策顧問も御出席のなか、演説を行う機会をくださったことに、重ねて厚く御礼申し上げます。

御静聴ありがとうございました。インド万歳、マハラシュトラ州万歳！